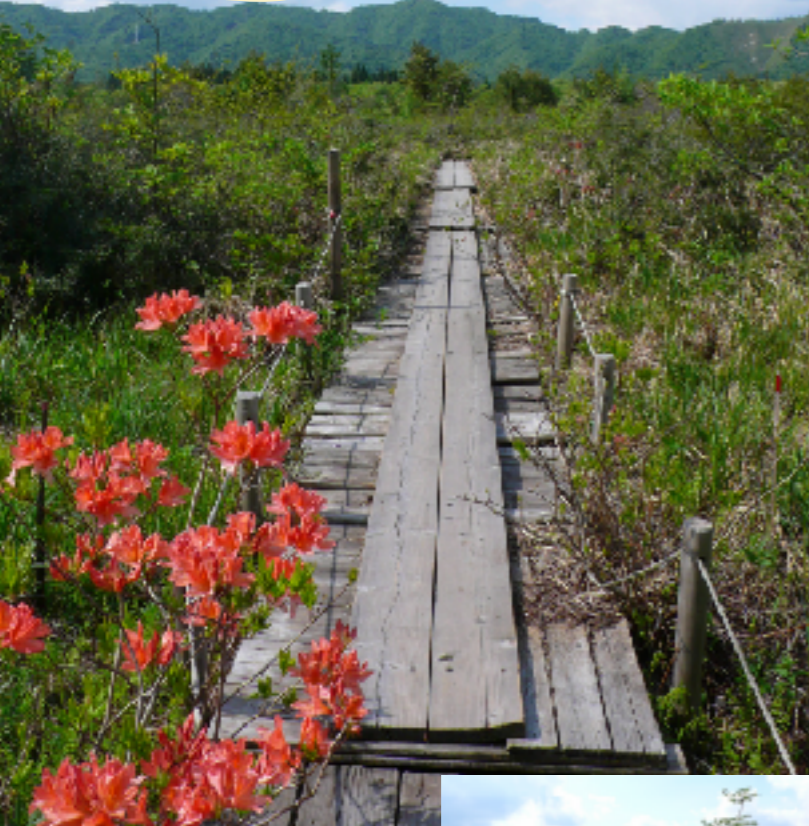




空の大きさを再発見!
足元には、
控えめな湿原の花を
みつけた?

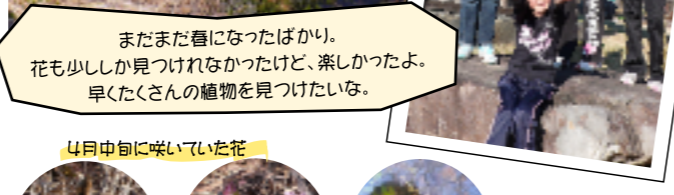


おススメは、5月下旬くらい~

4月よりもう少し春は進んだかな? ことで、6月1日、もう一度植物園の入り口をくぐってみました。うん。地面は緑になっている。レンゲツツジが咲き始めていて、ワタスゲの花はおなじみの綿毛になってました。古くなった木道を新しくする修復工事が進んでいて、カッコウの声と杭を打つ音が、いいカンジにゆるいリズムを刻んでる。今日はいいい天気。たまにはのんびり散歩も悪くないです。

4月。ひるがのの春は遅かった。今年は特にね。

4月中旬のとある日曜日。北小の仲良し女子たちと、春の気配を探しに湿原植物園に。「...う〜ん。」確かにミズバショウは咲いているけど、まだ雪も残ってたりして。「春はまだまだ先だね。」という感じでした。それでも、子どもたちのアンテナは敏感に反応。一面枯れ草? という薄茶色な地面の中から、ショウジョウバカマの花やわたすげの花(綿毛の前のこげ茶色の)を発見。水の中には「パイナップルみたい」と、コウホネの根っこを探し出しました。



お問合せ先 ひるがの湿原植物園 0575-73-2241

※ひるがの湿原植物園窓口はひるがの観光案内所です。

We love ひるがの
大好きなひるがののこゝ、聞かせてください③



岩嶋 直久さん
千草さん
蒼太くん・香乃葉ちゃん
(そうた) (このは)

誰にもおねごねない! ロゴから音の手作りマイホーム

岩嶋直久さんの家は、全部ご本人の手作り。どれくらい手作りか、というところも、すべてが真正正銘の手作りです。岩嶋さんの実家は土岐市。20代の頃には、アニメーターや漫画家を目指して上京した経験もあります。ところが、生活のためにアルバイトで始めた調理の仕事がおもしろくなり、約10年の東京生活に区切りをつけることに。いくつかの温泉旅館などで調理の仕事をした後、「次は田舎で働いてみようかな」と、たまたま勤務地に選んだのが、ひるがの高原でした。それもほんの観光気分。でも最初の就職先の契約が切れるころには、ひるがのが居心地いい場所になっていた岩嶋さんは、次の仕事先としてホームページを見つけ、オーナーの細辻さん(故)に出会います。

細辻さんには、たくさんのお話を教わったそう。中でも特にログハウスを建てる話は、岩嶋さんにとって、とても魅力的でした。実家のお父さんが、陶器を焼く窯作りの職人であったこと。また、昔からドラマの国から「五郎の生き方」に憧れていたこと。そして細辻さんの話。それらが岩嶋さんの中で影響を及ぼして、「ひるがの」に自分でログハウスを建てることを決めました。これまで貯めたお金で土地を買い、ログ作りを教えてくれた大工さんのお世話で、材料を輸入する段取りも整い、いよいよ作り始める。という時、奥さんの千草さんと出会います。正直、女性にはおもしろいかどうか疑問の生まれる作業を、千草さんは楽しみに手伝ってくれました。

気がつく、一人で住むはずだった家は一人の住まいに。一緒に作ってきた家が出来るまでの工程は、たくさん写真に収められていました。その後、長男の蒼太くん、長女のこのはちゃんの誕生や、蒼太くんの小学校入学などを機に増築を重ね、現在はなんと二階建てに。専門の技術が必要な二階部分の屋根と骨組み以外は、すべて自分たちの手で作りしました。

こうして「岩嶋ハウス」は、家族といっしょに育って来ました。岩嶋さん夫婦が、「どんな風にこの家を作ってきたか」を話す様子は、大切な宝物をひとつひとついねいに開いて見せてくれるかのようでした。

本当に必要なものを、使い勝手のいいように自分で作る。岩嶋さんの前では、エコがスローライフという言葉さえ、なんだか浮ついた感じがしてしまいます。「きれいな空気と水と草や木、ひるがのにはなんでもある。」岩嶋さんは言います。「東京での10年があったから、そのありがたさがよくわかる」とも。

便利があふれる世の中で、あえて手間をかけ、工夫を楽しむ。「お金があったら、楽に手に入れるんだけど」と笑う岩嶋さん。いえいえ、お金があっても岩嶋ハウスは手に入りませんよ、と言いかけてやめました。それを一番知っているのは岩嶋さんです。その余裕がともかっこいいお二人でした。

1年半経つと...こうなります



●レザークラフトの工房
家の廃材を利用して作った、趣味の工房。こじんまりしてなんとも落ち着けそうな空間。



●現在の岩嶋家
二階建てとても素敵なお家ができてあがり。



●岩嶋ハウスと岩嶋ファミリー
●スタートはキャンピングカー
●ログはフィンランドから輸入
●千草さんと結婚
●現在、増築された1階には、千草さんの専用スペース
●二階には蒼太くんの勉強部屋と家族の寝室

応援したい! ひるがのの特産品を考案中です。

ひるがのワッフル試験販売中
昨年より、ひるがのの有志の女性の方々(オーチャードの会)で、特産物、名物の開発研究をしてもらっていました。何回も試作や実験を重ね、そしてこのたび、「ひるがのワッフル」をリリースすることになりました。ちょっぴりバターと塩味の効いた、アメリカンタイプのワッフルで、季節の花やハーブ、山菜などを一緒に焼きこんでいます。アイスクリームとの相性が抜群! ということで、ひとまず仮に分水嶺の中屋さんで仕入れていただき、試験販売を始めました。他ではお目にかかれない、独創的で見た目もよく美味しい一品です。みなさんもぜひ一度ご賞味ください。今後の展開はまだ未定ですが、「うちでも使ってみよう」と、ご意見、お問い合わせをお待ちしています。

